

# 「淡路島と神戸を結ぶ新たな拠点づくり 2」事業

～生産者と消費者をむすぶ「つながりカフェ」～

認定 NPO 法人ソーシャルデザインセンター淡路  
(地域づくり活動 NPO 事業)

SODA  
SOCIAL DESIGN CENTER AWAJI

## 目的と課題

淡路島の中間支援である SODA が、市民レベルで交流できる拠点を神戸市内に設置し、島内外を繋ぐ中間支援事業をスタートさせた。一つは島内の生産者や、就労弱者、不登校、ひきこもりの支援に繋がる「つながりマルシェ」の継続。ソーシャルビジネスとなることを目指している。また淡路人形を通しての文化交流なども視野に入れて活動をしている。今年度は、広く地球環境の問題から私たちの暮らしを学ぶ場として、生産地と消費地の壁をどうやって超えていけるのかについてなど、つながりカフェと題してキックオフフォーラムを開催することが目的である。課題は、まったく今までつながりがなかった神戸市で、どうやって人集めをするか広報はどうするかなど、具体的なつながり方が模索される。そのための仲間づくりが必要なのでカフェを通して、出会えることを期待している。

## 1. 活動内容

### 島と神戸を結ぶ「つながりマルシェ」の開催（会場：神戸市東灘区）

SODA が支援している仲間たち（ひきこもり等の就労弱者）が製作している雑貨や島内の農家、事業所等の野菜、加工品の販売。

令和 6 年 4 月 27 日（集客数：約 80 人）

6 月 22 日（集客数：約 50 人）

11 月 30 日（集客数：約 50 人）

12 月 27 日（集客数：約 40 人）

令和 7 年 1 月 24 日（集客数：約 30 人）

「淡路人形浄瑠璃青年研究会」による ご祝儀戎舞（えびすまい）の上演と交流



100 人を超える  
参加者があった

### 島と神戸をむすぶ つながりカフェ キックオフフォーラム

#### 「私たちの食卓は地球環境につながっている」

（第 1 部） 講演 1 「食卓から見る地球環境」 京都大学名誉教授 湯本貴和先生

講演 2 「瀬戸内海漁業から日本の食を考える」

元水産大学校理事長 鷺尾圭司先生

（第 2 部） 「生産地と消費地の壁を越えて」

話題提供：（株）山形水産/淡路じゃのひれアウトドアリゾート代表取締役 山形収司さん

（株）しまぞろえ代表取締役 松岡優司さん

パネルディスカッション：ファシリテーター

神戸大学大学院教授 伊藤真之先生

淡路島の農・漁業の現状や課題を生産者の方に語っていただき、生産者の思いと消費者をつなぐ。また大学や関係機関と連携しその背景にある環境問題について考える場を提供することができた。

## 2. 成果と今後の展望

「つながりマルシェ」については、今年度は、夏が以上に暑かったため、島の野菜がほとんど手に入らず、毎月の開催ができなかった。せっかく顔なじみになっていたが、やはり不定期となるとお客さんが減ってきた。また、運ぶ途中で車内で温度が上がり野菜が傷むというようなトラブルがあった。ビジネスにするには、冷蔵車を購入するなどの次の課題が生まれてきた。「つながりカフェ」は、初めての取り組みということで、2 回の予定を 1 回に集約し、集中して 2 月 1 日のキックオフフォーラムにかけた。まずは、会場探しに苦戦し、後援名義をいただくために神戸市や神戸市婦人団体協議会、神戸大学、読売新聞神戸総局などに足繫く訪ね理解していただいた。さらに神戸市内の NPO や団体などにもあいさつに伺い、当日は 100 人を超える参加者があった。フォーラムは大成功に終わり、多くの賛同者を得ることができた。来年度に向けての企画案も出された。